



地域に根ざした活動の拠点 消防団 詰所 竣工



平成27年1月1日現在

総人口	12,486人
男	6,085人
女	6,401人
世帯数	5,018世帯

地域の皆様にお世話になっております島内地区を管轄している松本市消防団第八分団です。

第八分団は、杉岡秀次分団長以下61名の団員で構成され、日頃から地域の安心、安全のために、各種訓練や予防広報など、地域に根ざした活動をしています。

このたび当分団の詰所が約40年ぶりに建替えとなり、昨年末に竣工し、12月26日から活動を開始しました。これもひとえに諸先輩方、家族、地域の皆様方のお力添えがあったからこそで、1月17日地域の皆様に詰所を披露しました。感謝申し上げます。

新しい詰所を大切に使用し、これからも地域の安心、安全のために頑張つて活動していきたいと思っています。

話しは変わりますが、当分団では団員の確保に苦労しています。現在定数割れが続いている状況です。分団でも団員確保に懸命に努めています。が、各町会、地域の皆様方にも是非ご協力、お力添えをお願いいたします。

消防団活動に興味のある方はお近くの団員までおたずねください。

松本市消防団第八分団

副分団長 高島暁夫

「正月の伝統行事と遊び」 第五回農業文庫講座

島内農業文庫運営委員会と島内公民館、島内図書館の共催による、本年度第五回講座「正月の伝統行事と遊び」が12月13日、島内公民館を会場に開催されました。

園児、小学生、スタッフ（ボランティア）90人が参加して、竹トンボ、凧、折紙、あやとり、お手玉の各コーナーで作り方と遊びを学びました。

子供達はできあがった竹トンボを飛ばしたり、凧揚げ等をして歓声を上げていました。

次に子供達が交代で杵と臼で餅つきを行い、元氣な掛け声が響きました。



ついた餅は女性スタッフが作ったあんどきな粉餅で味わい、「おいしい」と笑顔で口いっぱいにはお張っていました。この講座は、昔から行われている遊びや行事（正月のものを中心に）を実際に体験し、子供達とその親世代に伝統を伝え、またスタッフ（ボランティア）の方々との世代間の交流も図り、あわせて島内図書館利用の地区民への周知も図りたいとの趣旨で行っているものです。

スタッフは「今日学んだもの作りと遊びを忘れず、家族や友達と楽しんでほしい」と願っていました。

島内農業文庫運営委員会は平成五年、島内土地改良区の圃場整備後の地域の環境の改善や文化の向上に役立てようと工事の剰余金で約四千冊の図書を購入して地域に提供し、利用してもらう活動が発端です。その後東京大学の和田輝男教授から一万五千冊の寄贈があり、島内図書館の開館で「島内農業文庫室」のコーナーが配置されました。

以後、公民館、図書館と連携して、毎年地域文化の向上と生涯学習を目指し、見学研修や講演会、また地産地消の食事の提供を実施しています。今後ともご理解とご支援をお願いいたします。

島内農業文庫運営委員会
会長 高島清次

熱心な懇談

「市政まちかどトーク報告」

昨年12月19日午後7時から島内公民館で島内地区市政まちかどトークが行われました。4年振りの開催とあって八十余名の参席を得て活発な討議がなされました。

市側からは、菅谷市長、坪田副市長をはじめ各部長が参席しました。ご承知のとおり松本市は総合計画で「健康寿命延伸都市・松本」を都市像に掲げています。

当日は総合進行を島村昌代東方町会長が担当し、平林より島内地区における取組みを紹介後、「少子化問題」を矢萩正彦平瀬川西町会長が、続いて「地域における子どもの見守り強化等」を堀内嘉昭島



高松町会長が発議しました。これらについて市側から菅谷市長から総括的な回答と、各部長から個別に具体的な答弁がありました。

午後8時をまわった頃からフリートークタイムとなり、川船昌子氏(新橋町会)が「地域の健康づくりと環境整美問題」、宮田芳彦氏(松島町会)が「空家対策」、そして逢澤國晃氏(下田町会)より「平瀬城跡の整備保存」についての趣旨説明があり、それらに関して坪田副市長及び担当部長より回答がありました。総体的に意義のあるフリートークとなったと思料します。終了予定時間を大幅に超える程熱心な懇談に終始しました。まちかどトークの趣旨の一

つでもある、皆さん気軽に参加して市長等の話しを直接聴いて何かを得るという点は一定の成果があったと思います。

参加者の中にまだ発言の仕切れない方もいたかと思いま

すが、制限された時間の範囲ということもあり、どうぞご容赦の程を願います。

島内地区町会連合会

会長 平林大喬

特殊詐欺・悪質商法対策は… 「電話に出ない・話をしない」が一番！

島立交番 所長 福田 守

島内地区の皆さん、明けましておめでとうございます。本年もよろしく願います。

早速ですが、今年も特殊詐欺被害の発生が予想されるところですので、被害防止対策についてお話しします。

特殊詐欺の手法は日々変化するなど巧妙で、分かっている、電話を受けてしまえば、だまされてしまいます。

一番の予防策は、「電話を受けないこと」「話をしないこと」です。そのため

◎ナンバーディスプレイ等対応機能付き電話機の利用(電話会社への申込みが必要)

ナンバーディスプレイ等の「番号表示サービス」に対応している電話機を使用し、番号非通知の電話は着信を拒否しましょう。また、番号が表示されている場合、知らない



番号には出ず、電話番号を調べてから必要であればかけ直しましょう。

◎留守番電話機能の利用(留守番電話機能付きの電話機が必要です)

在宅時でも留守番電話に設定しておき、メッセージを聞いてから電話にでるか、必要であればかけ直しましょう。犯人は留守番電話になつていいると電話を切つてしまいます。

松本警察署管内では、昨年インターネット

た詐欺被害や情報購入代金等名目の詐欺被害が一昨年の倍以上発生していますので気を付けて下さい。特殊詐欺被害を一件でも減らすために警察では犯人をひとりでも多く検挙していきます。

島内地区の皆さんにとって今年が良い年でありますように祈念しております。

新年祝賀会



島内公民館ギャラリー 「ピアッサ」の予定

○手書友禅染色作品展
2月9日～27日

○第4回ひな人形展
3月3日～27日